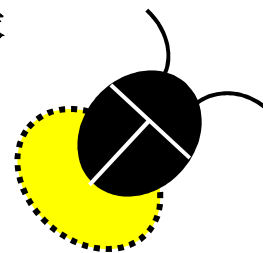


平成 29 年度ホタルの里づくり活動報&写真記録



★『ホタルまつり』

■ホタルまつりに向け、看板の設置 (H29.6.1) ・準備

6月17日に開催するホタル祭りのため、ホタルの里づくりの会会員で、町内10ヵ所と公民館前に案内看板を設置しました。

6月に入ると、会員やボランティアの方たちが、公民館玄関前に掲示したボードにホタルの数を記入していただきます。毎日の散歩のときにチェックするのが日課、という方もいらっしゃる程、町民の皆さんは楽しみにしてくださっています。

堀切川入口や川沿いの道に「ホタル街道」や「ほたる鑑賞小径(こみち)」などの看板を設置し、分かりやすくしています。

鶴里公民館前



その他、堀切川入口、堀切川流路工、新陽カントリー付近、下町公民館付近の11ヵ所に設置



堀切川流路工



新陽カントリー付近



鶴里公民館付近

■ホタルまつり (H29.6.17)

ホタル祭りでは、ミニコンサートと自然観察会を行います。

▽ミニコンサート 時間：午後 7 時 00 分～8 時

場所：2 階ホール

演奏者：市川太一 テノールコンサート



恵那市役所に勤務する市川さんは、金沢工業大学在学中、第 25 代応援団長を務め、「大声には自信がりましたが、音楽経験ゼロ」。ところが「無料で偉い先生に聞いてもらえるのなら」と受けた名古屋市文化振興事業団企画総合舞台公演のオーディションで、「まさかの」メインキャスト合格。以来、声楽家の江端智哉さんに師事して4年連続、主要キャストに選ばれ、翌年にはオペレッタ講演にもテノールリストとして出演されました。市川さんは、最初のオペレッタ講演を機に「私的業務外サービス」を始め、各種イベントに出演。豊かな声量と明るいトークで大好評を得ています。

公民館前看板



会場



駐車場/猪鍋振る舞い



大盛況

中学生ボランティアの様子



打ち合せ



合唱

濃南中学校から、29 名の生徒さんがボランティアスタッフとしてまつりをサポート。会場設営や受付、来場者の案内係などを務めてくださいました。



花束贈呈



お出迎え



受付

今年も参加型のコンサートでみんなで体を動かし歌いました。
 コンサートの様子 会場は立ち見もできるほど満員になりました

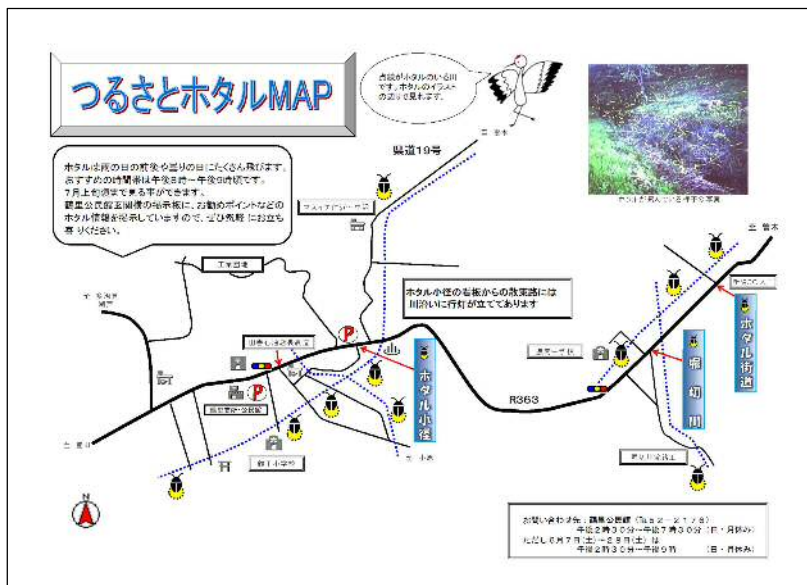


▽自然観察会

自然観察会は鶴里町のあちこちで開催されました。特にホタルが多く見られるところには看板が立てられて、毎日ホタルの数を数えています。

道は暗いので、安全のため、ホタルの里づくりの会員やボランティアが誘導などをしました。

また、ホタルの小径近くの広場では、和の会さんによる猪鍋の無料サービスや柿野温泉のペアチケットが当たる抽選会、だんごなどの屋台を出し、大変盛り上がりました。



今年は、前年と比較しホタルの飛翔は半分以下で少々残念な結果でした。市外・県外のお客様も年々増加し幻想的な風景には感激の声が数多く聞こえました。猪鍋ふるまいも大盛況





鶴里公民館の横、ホタルの小路・広畑川では小路を歩いていると目の前を沢山のホタルが横切ってきたり、足元にとまったりと距離感0のホタルとのふれあいが楽しめます。

前年に比べホタルの数は少なかったことは残念ですが、お客様からは「すてきな夜を楽しめた」との声を頂けました。



新陽カントリー入口の妻木川は、ホタルの小路と違って変わって見通しがよく、遠くの川辺にホタルが舞う光景を見ることができます。

遠目に見る川辺は、本当に幻想的で素晴らしい光景です。川辺には木のベンチがいくつか設置されゆっくりと観賞することができました。



★ ホタルの里づくり 1年間の活動

■ホタルの水槽設置（濃南学校 4年生）（H29.6.29）



ホタルまつりが終わると、公民館・小学校・ホタルの里づくりの会・里親の皆さんが来年も綺麗なホタルが舞うことを願いつつ、幼虫飼育が始まります。

小学校では毎年4年生の皆さんに飼育を手伝ってもらいます。

まずは、公民館主事の指導のもと幼虫を育てる水槽設置からはじめます。

■ホタルの幼虫配布（濃南小学校 4年生）（H29.7.27）

ホタルまつりの日に捕まえたホタルから産卵させた幼虫を小学校へ配布します。

幼虫は髪の毛の先ほどしかありません。

スポイトで小さな幼虫を数えながら吸い上げ水槽へいれ、ホタルのエサとなる巻貝（カワニナ）も近くの川から取ってきました。

里親さん・ホタル里づくりの会の皆さんへも幼虫を配布しました。

この日から、来年の3月まで定期的なカワニナ捕獲と幼虫の飼育がはじまります。



孵化した幼虫です。2000匹以上います。



■ホタルの生息地の環境整備（H29.9.3）

ホタルが育つにはホタルの生息地の環境整備が不可欠です。ホタルのエサとなるカワニナが自然発生するよう、カワニナ養殖場や堀切川の整備をホタルの里づくりの会の皆さんと定期的に行います。



■濃南中学校での生き方教室の開催（H30.1.31）

ホタルの里づくりの会の副会長「土屋総一郎」が講師となり、濃南中学校で『生き方教室』を開催しました。ホタル舞う鶴里の豊かな自然に誇りを持ち、ホタル飼育により命や自然環境保護の大切さを「ホタルの里づくり」を通して講義しました。

■ホタルの放流会（濃南小学校 4 年生）（H30.3.8）

鶴里公民館では、濃南小学校 4 年生にホタルの飼育と水槽の設置のお願いをしています。児童たちは約 1 年かけて幼虫の世話をし、命の大切さや自然を守ることの大切さなどを学びます。

1 年かけて大きくなったホタルの幼虫は、毎年 3 月、児童たちによって放流されています。班ごとに責任を持って育てます そのままでは重いので、水を抜きます 外に運び出します 水槽からホタルの幼虫を掘り出します。今年は 3 月 8 日に幼虫を育て放流します。



■カワニナ散布（H30.3.18）

ホタルの幼虫の餌となるカワニナを町内の川へ放流する事業を行います。ホタルの里づくりの会メンバーらにより、カワニナ 60kg 程を雨沢、坂下、上、中、小学校下、山善石油店裏、入海道、中学校、中学校プール横、カワニナ養殖場、新陽カントリークラブ入り口の肥田川の 11カ所で放流しました。



■ホタルの放流会（公民館・ホタルの里づくりの会・里親・一般）（H30.3.18）

今年は 3 月 18 日に実施しました。

ホタル会員・里親さんが掘り出したの 900 匹のホタルの幼虫を、広畑川・妻木川に放流します。

放流希望の一般の方と JA とうとさんも参加して行いました。

